

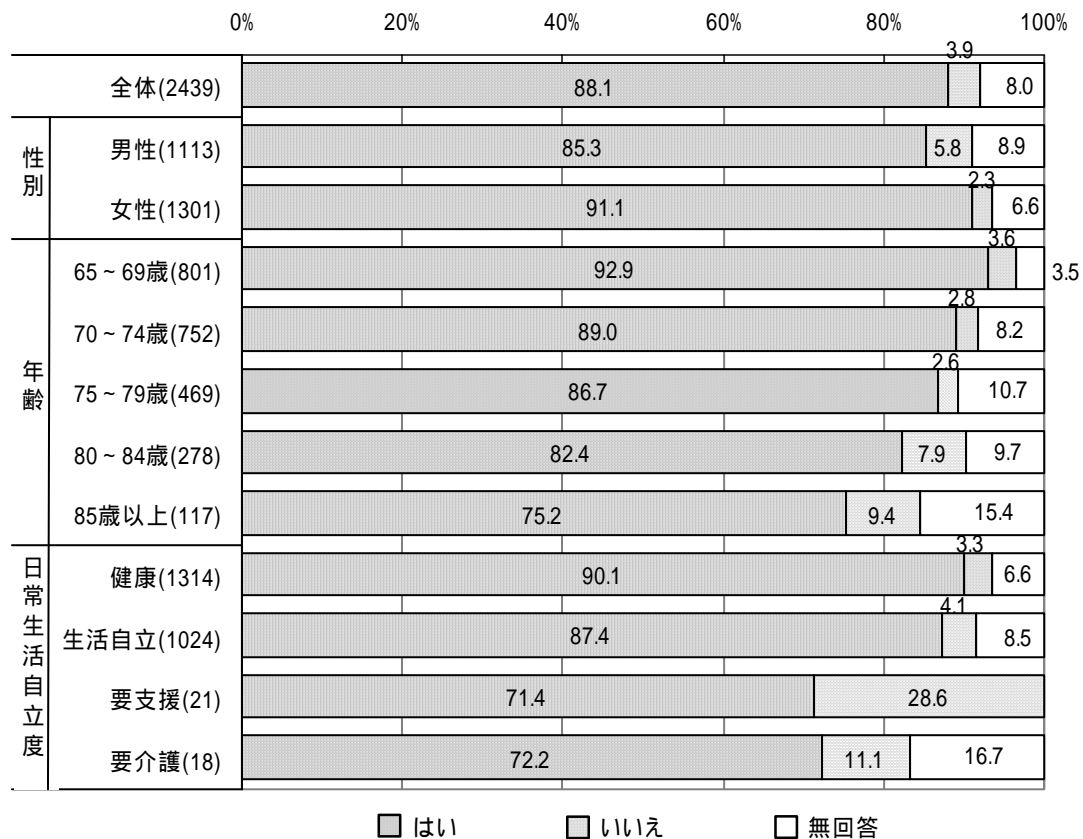
14 歯や口について

(1) 毎日、歯を磨いている人

毎日、歯を磨いている人は、88.1%となっています。

性別では、男性のほうが毎日、歯を磨いている人が低い傾向があります。年齢別では、年齢が高くなるほど毎日、歯を磨いている人が低くなる傾向があります。生活自立度別には、要支援、要介護の人で歯を磨いている人が低くなっています。

図1-28 毎日、歯を磨いている人



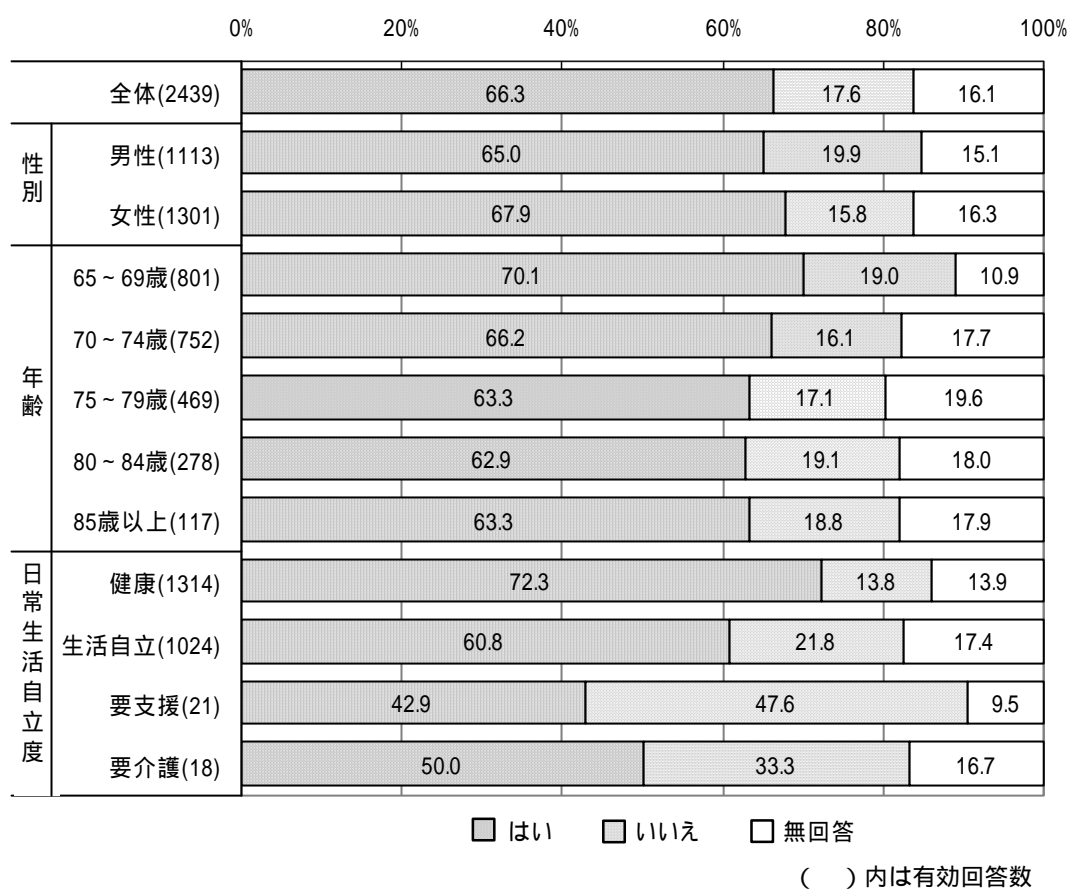
()内は有効回答数

(2) 何でもよくかむことができる人

何でもよくかむことができる人は、66.3%となっています。

性別では、男性のほうが何でもよくかむことができる人の割合が低い傾向があります。年齢別では、65～69歳では高くなっていますが、70歳以上では大きな差異はみられません。日常生活自立度別では、要支援、要介護の人で何でもよくかむことができる人の割合が低くなっています。

図1 - 29 何でもよくかむことができる人

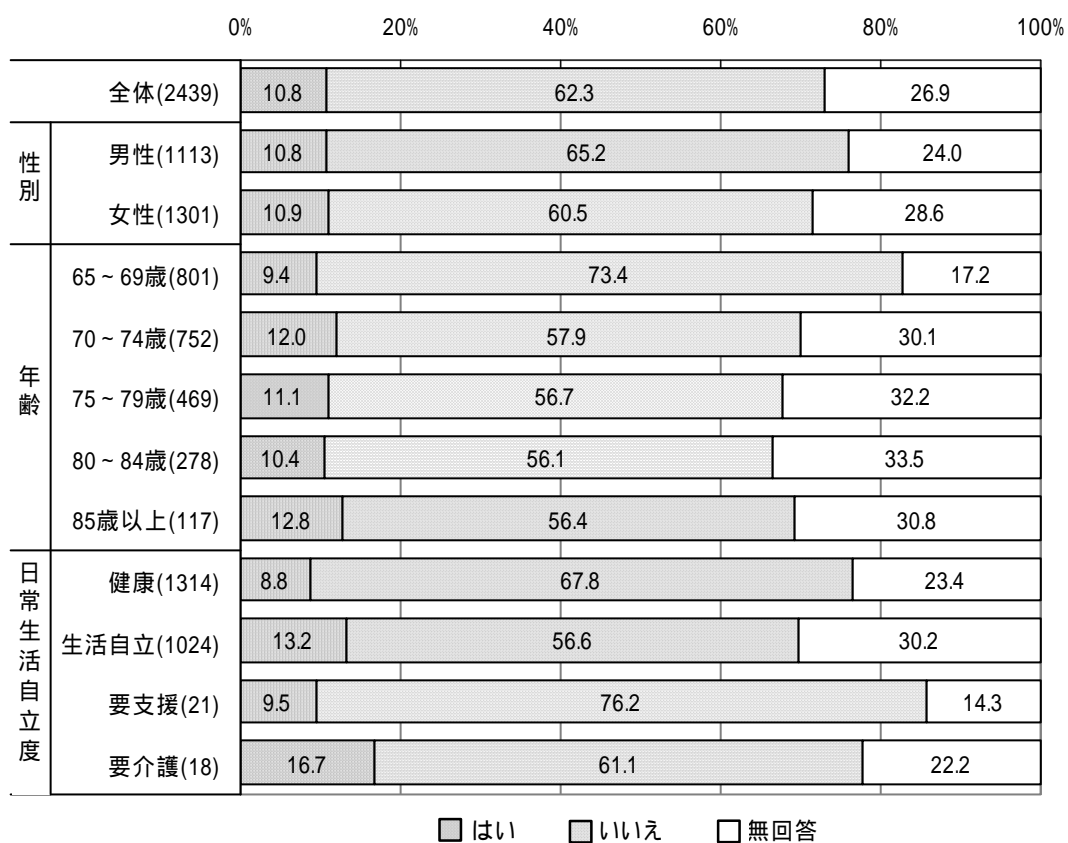


(3) 口の中に痛いところがある

口の中に痛いところがある人は、10.8%となっています。

年齢別では、65～69歳では高くなっていますが、70歳以上では大きな差異はみられません。日常生活自立度別では、要介護の人で口の中に痛いところがある人の割合が高くなっています。

図1 - 30 口の中に痛いところがある人



()内は有効回答数

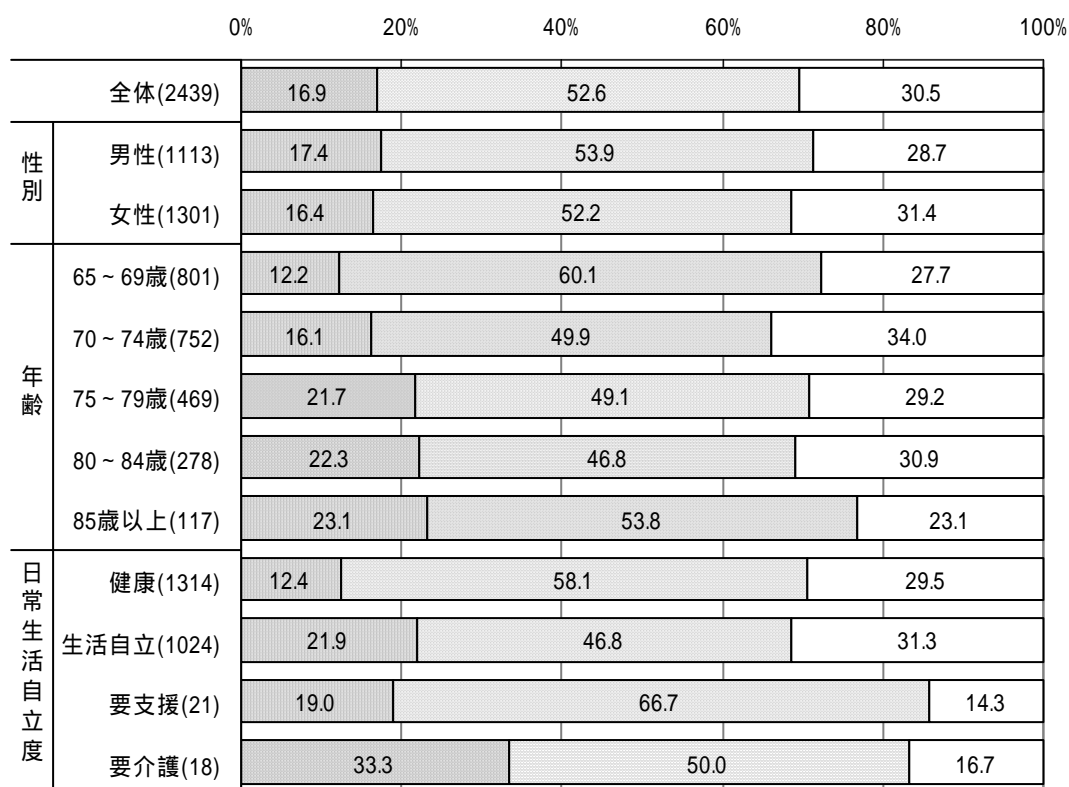
(4) 入れ歯の調子が悪い人

入れ歯の調子が悪い人は、16.9%となっています。

性別では、大きな差異はみられません。年齢別では、後期高齢者において入れ歯の調子が悪い人の割合が高くなっています。

日常生活自立度別では、要介護の人で入れ歯の調子が悪い人の割合が高くなっています。

図1 - 31 入れ歯の調子が悪い人



■ はい ■ いいえ □ 無回答

() 内は有効回答数

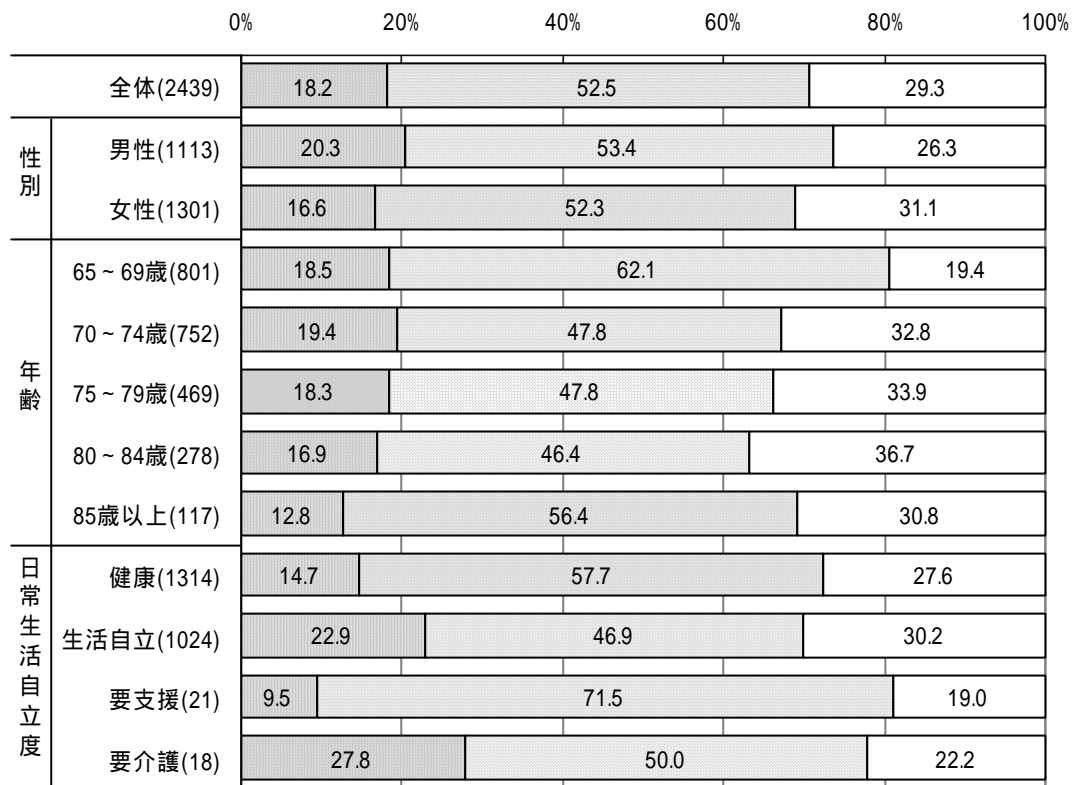
(5) 歯茎の調子が悪い人

歯茎の調子が悪い人は、18.2%となっています。

性別では、男性のほうが歯茎の調子が悪い人の割合が高くなっています。年齢別では、大きな差異はみられません。

日常生活自立度別では、要介護の人で歯茎の調子が悪い人の割合が高くなっています。

図 1 - 32 歯茎の調子が悪い人



■ はい ■ いいえ □ 無回答

()内は有効回答数

1 5 緊急の連絡先の有無

緊急の連絡先の有無については、「ある」が94.4%となっています。

性別、年齢別、日常生活自立度別では大きな差異はみられません。家族構成別では、ひとり暮らしの人で、比較的低くなっています。

連絡先は、「子ども」が最も高く69.9%、次いで「配偶者」が53.6%となっています。

図1 - 33 緊急の連絡先の有無

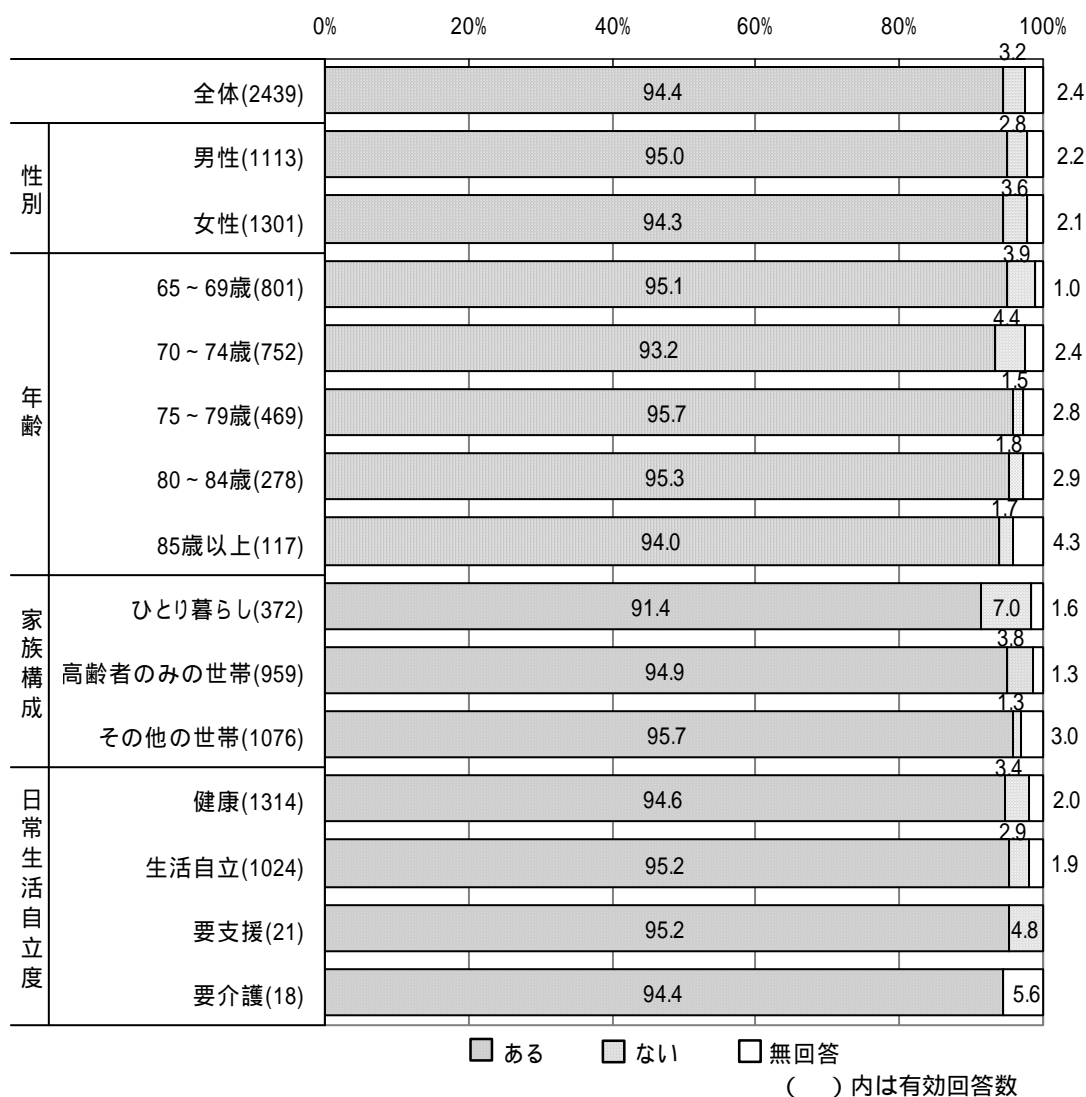
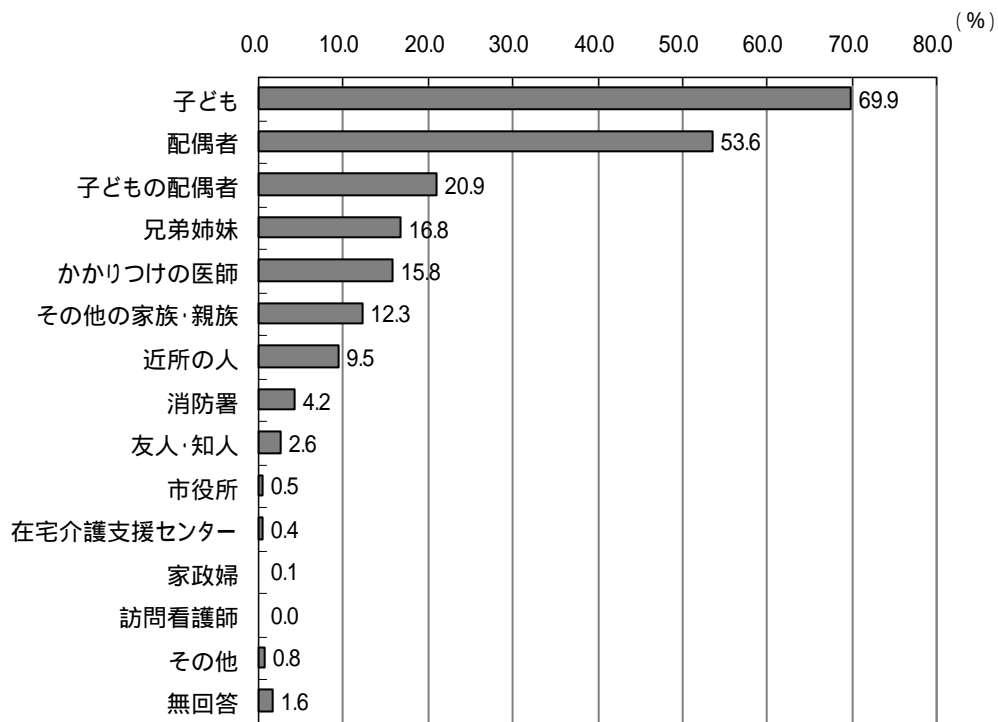


図1 - 34 緊急の連絡先



(有効回答数; 2303件)

「その他」として記入は、次のとおりです。

子ども (2件)

子どもと同居 (2件)

勤務先 (2件)

家主さん (2件)

兄嫁

地域の民生委員さん

入所している老人ホーム

赤十字

ケアハウス入居ですので同居人またはスタッフの人

家族

NPO 法人

同居人

消防署

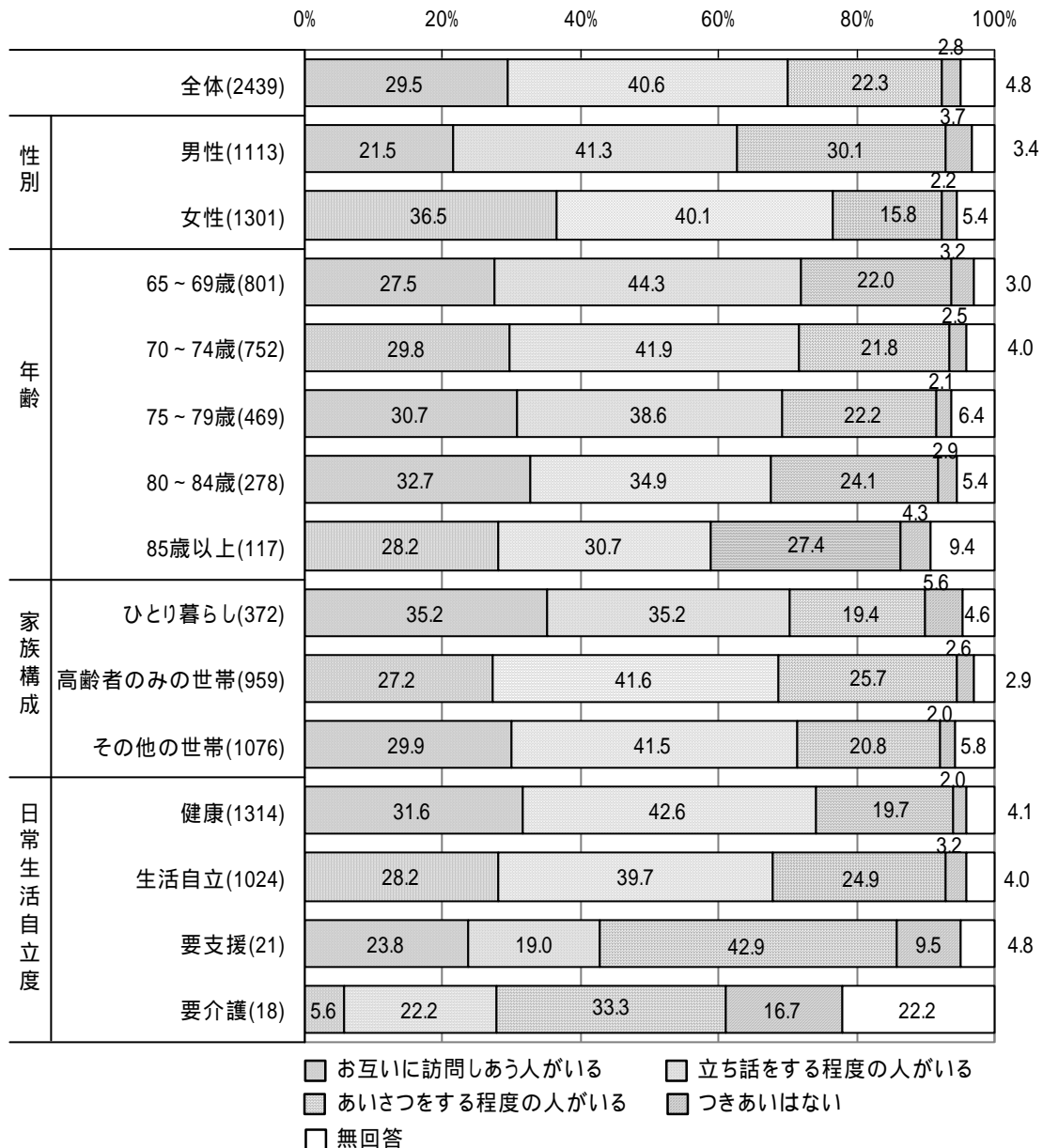
16 近所づきあい

近所づきあいの程度をみると、「立ち話をする程度の人がいる」が40.6%と最も高く、「つきあいはない」は2.8%となっています。

性別では、女性のほうが「お互いに訪問しあう人がある」が高く、近所づきあいの程度が深い傾向があります。年齢別では、年齢が高くなるほど「立ち話をする程度の人がある」が低くなり、「あいさつをする程度の人がある」が高くなる傾向があり、加齢とともに近所づきあいの程度が希薄となる傾向がうかがわれます。家族構成別では、ひとり暮らしで「お互いに訪問しあう人がある」が高くなっています。

日常生活自立度別では、自立度が低くなるほど「お互いに訪問しあう人がある」、「立ち話をする程度の人がある」が低くなり、近所づきあいの程度が希薄となる傾向がうかがわれます。

図1 - 35 近所づきあいの程度



17 相談相手

健康や福祉のことで困ったときの相談相手を見ると、「家族・親族」が83.8%と最も高く、そのほかでは「かかりつけの医師など」が43.8%と高くなっています。

性別では、女性のほうが「近所の人」が高く、逆に男性のほうが「市役所の相談窓口」が高くなっています。年齢別では、年齢が高くなるほど「友人・知人」が低くなる傾向があります。家族構成別では、ひとり暮らしで「友人・知人」が高くなっています。

日常生活自立度別では、「市役所の相談窓口」は要支援、要介護の人で低くなっています。

表1-5-1 健康や福祉のことの相談相手

(単位; %)

区分		家族親族	友人知人	民生委員近所の人	近所の人	保健師	市役所の相談窓口	社会福祉協議会	かかりつけの医師など	在宅介護支援センター	シルバー10番	高齢者総合相談センター	相談する人が誰もいない	その他	無回答
全体(2439)		83.8	22.7	9.3	11.4	1.4	13.5	2.3	43.8	2.8	3.9	1.1	1.1	3.4	
性別	男性(1113)	84.2	18.7	9.3	9.3	1.7	16.2	2.3	45.1	2.8	4.0	1.2	1.3	3.3	
	女性(1301)	84.1	26.1	9.2	13.2	1.1	11.3	2.3	43.0	2.9	3.8	1.0	0.9	3.1	
年齢	65～69歳(801)	84.8	28.5	7.7	11.5	1.1	15.7	2.2	39.8	2.4	2.9	1.4	1.2	1.9	
	70～74歳(752)	83.0	23.8	9.3	11.3	2.0	14.6	3.2	43.5	3.7	5.5	0.8	0.9	3.6	
	75～79歳(469)	84.2	19.6	9.4	10.7	0.9	11.9	1.5	50.3	3.2	4.1	0.6	0.6	4.3	
	80～84歳(278)	85.3	13.7	12.6	12.9	1.4	9.4	1.8	45.3	1.1	3.6	1.8	1.4	4.0	
	85歳以上(117)	83.8	11.1	10.3	11.1	2.6	6.8	1.7	44.4	3.4	1.7	0.9	2.6	4.3	
家族構成	ひとり暮らし(372)	64.5	30.6	16.4	16.9	0.8	12.9	1.3	39.0	1.9	5.4	3.2	3.0	4.0	
	高齢者のみの世帯(959)	86.1	23.7	9.2	11.3	1.5	16.1	3.0	44.9	3.4	4.6	1.0	0.7	2.1	
	その他の世帯(1076)	89.4	19.2	6.8	9.7	1.6	11.6	2.0	45.1	2.7	2.9	0.3	0.8	3.7	
日常生活自立度	健康(1314)	86.2	24.4	8.2	11.6	1.8	13.9	2.4	38.8	2.7	4.3	0.8	0.8	3.3	
	生活自立(1024)	82.4	21.4	10.4	11.3	1.1	13.7	2.3	50.9	2.9	3.7	1.3	1.4	2.8	
	要支援(21)	81.0	9.5	14.3	4.8	0.0	9.5	4.8	52.4	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	
	要介護(18)	83.3	22.2	5.6	11.1	5.6	0.0	0.0	33.3	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	

()内は有効回答数

表1 - 5 - 2 健康や福祉のことの相談相手

(単位 ; %)

区分	家族親族	友人知人	民生委員近所の人	近所の人	保健師	市役所の相談窓口	社会福祉協議会	かかりつけの医師など	在宅介護支援センター	高齢者総合相談センター （シルバー10番）	相談する人が誰もいない	その他	無回答
	地区												
中央部(413)	83.1	25.4	8.2	11.1	0.0	13.8	1.5	47.2	2.9	4.8	1.7	2.2	2.2
西部(232)	87.1	19.0	14.7	11.2	3.9	14.2	3.0	42.2	5.6	3.4	0.0	0.4	3.9
日光(210)	83.3	27.1	10.0	14.8	2.9	15.2	3.8	44.3	1.0	4.3	1.4	0.5	3.3
市橋(396)	83.8	21.2	8.1	11.1	1.0	13.6	2.0	44.4	2.0	4.0	0.8	1.8	3.3
南部(274)	84.3	24.1	5.8	11.7	2.2	13.5	3.3	43.4	2.2	5.5	0.4	0.7	4.0
長森(248)	87.1	20.6	10.1	8.9	1.6	12.5	1.2	44.8	5.2	2.0	0.4	0.8	2.0
東部(129)	81.4	21.7	10.1	11.6	0.0	11.6	3.1	33.3	3.1	3.9	0.8	0.0	5.4
北部(391)	85.4	22.0	9.2	12.0	0.8	13.6	1.8	43.5	2.3	3.6	1.8	0.8	2.6
北東部(74)	87.8	24.3	9.5	10.8	4.1	10.8	4.1	47.3	1.4	4.1	0.0	1.4	2.7

()内は有効回答数

「その他」として記入は、次のとおりです。

医師（2件）

難病連

民生委員は役に立ちません。相談したことがあります

直接市役所の担当者に

あまり考えておりません

よくわからない

まだ現役につき、会社の病院

精神科医

兄弟姉妹

家族

一人暮らしですから、電話で子どもに

発熱や肺炎など倒れるまで家族にも言わない。自覚症状が感じられないようである

同居人

インターネット

一人暮らしなので相談したいが、さしあたって今は考えられない

いまのところ友人がいますけどこれからはわからない

市会議員

病院の社会福祉士、ケアマネジャー

嫁に出した娘

各施設

1 8 介護予防に関して力を入れて欲しいこと

介護予防に関して市に力を入れて欲しいことをみると、「軽運動（筋力向上等）の推進」「生活習慣病の予防」が3割を超えています。性別では、これらの2項目は男性のほうが高くなっています。年齢別にみると、これらの2項目は前期高齢者で高くなっています。家族構成別では、「軽運動（筋力向上等）の推進」についてひとり暮らしで低くなっています。

日常生活自立度別では、「軽運動（筋力向上等）の推進」「食生活（栄養等）の改善」は要介護の人で低くなっています。

表1 - 6 - 1 介護予防に関して力を入れてほしいこと

(単位；%)

区分		軽運動(筋力向上等)の推進	食生活(栄養等)の改善	閉じこもり予防	足指爪のケアの推進	認知症(痴呆)予防	日常生活の動作訓練	歯の健康づくり	生活習慣病の予防	その他	無回答
全体(2439)		35.1	29.2	14.7	2.7	29.9	14.8	7.7	33.3	3.5	18.9
性別	男性(1113)	39.3	29.5	14.0	2.0	30.1	15.0	8.0	35.0	4.0	16.8
	女性(1301)	31.6	29.3	15.3	3.5	30.1	14.5	7.5	32.4	3.2	20.1
年齢	65～69歳(801)	37.8	31.7	15.5	2.4	29.1	13.0	9.0	38.6	2.7	15.9
	70～74歳(752)	35.1	29.1	15.6	2.8	29.7	14.8	7.7	34.8	4.8	16.8
	75～79歳(469)	34.8	29.0	12.6	3.2	31.6	16.2	8.1	27.9	1.7	23.9
	80～84歳(278)	29.5	26.3	14.4	3.2	31.7	16.2	5.0	29.5	4.7	21.9
	85歳以上(117)	33.3	22.2	12.8	2.6	29.9	16.2	3.4	21.4	5.1	21.4
家族構成	ひとり暮らし(372)	25.0	30.6	15.1	2.4	24.7	13.4	8.1	30.6	4.3	24.7
	高齢者のみの世帯(959)	40.8	30.6	15.7	2.8	30.2	14.7	9.7	34.5	3.3	15.2
	その他の世帯(1076)	34.1	27.9	13.8	2.8	32.1	15.4	5.7	33.7	3.5	19.0
日常生活自立度	健康(1314)	38.5	30.2	14.9	2.1	28.7	14.7	7.3	36.3	3.7	17.0
	生活自立(1024)	32.5	28.3	14.6	3.6	32.2	14.6	7.7	30.5	3.2	20.1
	要支援(21)	33.3	23.8	19.0	4.8	23.8	9.5	4.8	28.6	9.5	14.3
	要介護(18)	11.1	11.1	11.1	5.6	38.9	11.1	11.1	33.3	11.1	22.2

()内は有効回答数

表1 - 6 - 2 介護予防に関して力を入れてほしいこと

(単位；%)

区分		軽運動(筋力向上等)の推進	食生活(栄養等)の改善	閉じこもり予防	足指爪のケアの推進	認知症(痴呆)予防	日常生活の動作訓練	歯の健康づくり	生活習慣病の予防	その他	無回答
地区	中央部(413)	34.4	29.5	12.6	5.1	31.5	16.0	7.5	34.9	1.5	18.4
	西部(232)	38.4	31.0	14.7	1.7	29.7	15.1	7.3	31.0	2.2	21.1
	日光(210)	34.8	29.5	17.6	3.3	35.7	18.1	11.4	34.8	3.3	16.2
	市橋(396)	34.1	28.3	13.4	2.0	28.8	13.4	6.3	32.8	4.5	18.7
	南部(274)	38.7	33.2	18.2	1.5	27.4	12.0	6.9	34.3	2.6	19.7
	長森(248)	37.5	28.2	14.9	4.4	29.4	16.1	7.7	32.3	5.6	11.7
	東部(129)	31.8	19.4	18.6	1.6	38.8	10.1	7.8	33.3	3.1	20.2
	北部(391)	35.3	30.4	13.3	1.8	26.3	15.6	7.7	34.3	5.6	19.7
	北東部(74)	32.4	28.4	13.5	1.4	37.8	12.2	10.8	28.4	2.7	21.6

()内は有効回答数

「その他」として記入は、次のとおりです。

特になし。(10件)

よくわかりません。(10件)

自分はまだ健康のためよくわかりません。(3件)

考えたことがない。(2件)

予算の無駄遣いをしないよう要望する。(2件)

相談窓口を設ける。(2件)

今は友人もあり充実している。

市に世話を掛けられないので自分で努力をする。

心理系、心のケアを。

ストレス解消法。

軽運動が1人で出来る場所。

高齢者へのスポーツ施設利用補助。ゴルフ、スイミング、ボウリング、ハイキングなど。

経済的安定があれば心身とも安定すると思う。
自分で管理しているので現在はよくわからない。
ヘルパーの収入を現状より高く願う。一般的に仕事量に対して低収入。
治療より予防に重点をおいた施策を。
老人クラブの活用
業者を十分指導して、うその経費を使わないように。
それぞれ困ったときの連絡先を知らせてほしい。
スーパーなど異常な食品の宣伝。
看護政策、予算への受料と実施。
通院の車代補助。
市の財政を考えて。
そんな事よりも少子化対策を考えるべき。
市役所はあてにならない。
出来るだけ皆様に迷惑をかけないように自分でする。
開放的なサロン造り。
校区などに積極的に高齢者が体力をつける事が出来る場所と指導を。
自分でする事ですね。
主婦業という仕事があるから。
自分に直面してないので、想像力が、浮かんでこない。
集団でするのは参加しないことがほとんどなのでなにをどうとは言いがたい。
腰痛。
音楽に関する催物。
普通であればよろしい。

19 介護が必要になったときの対処

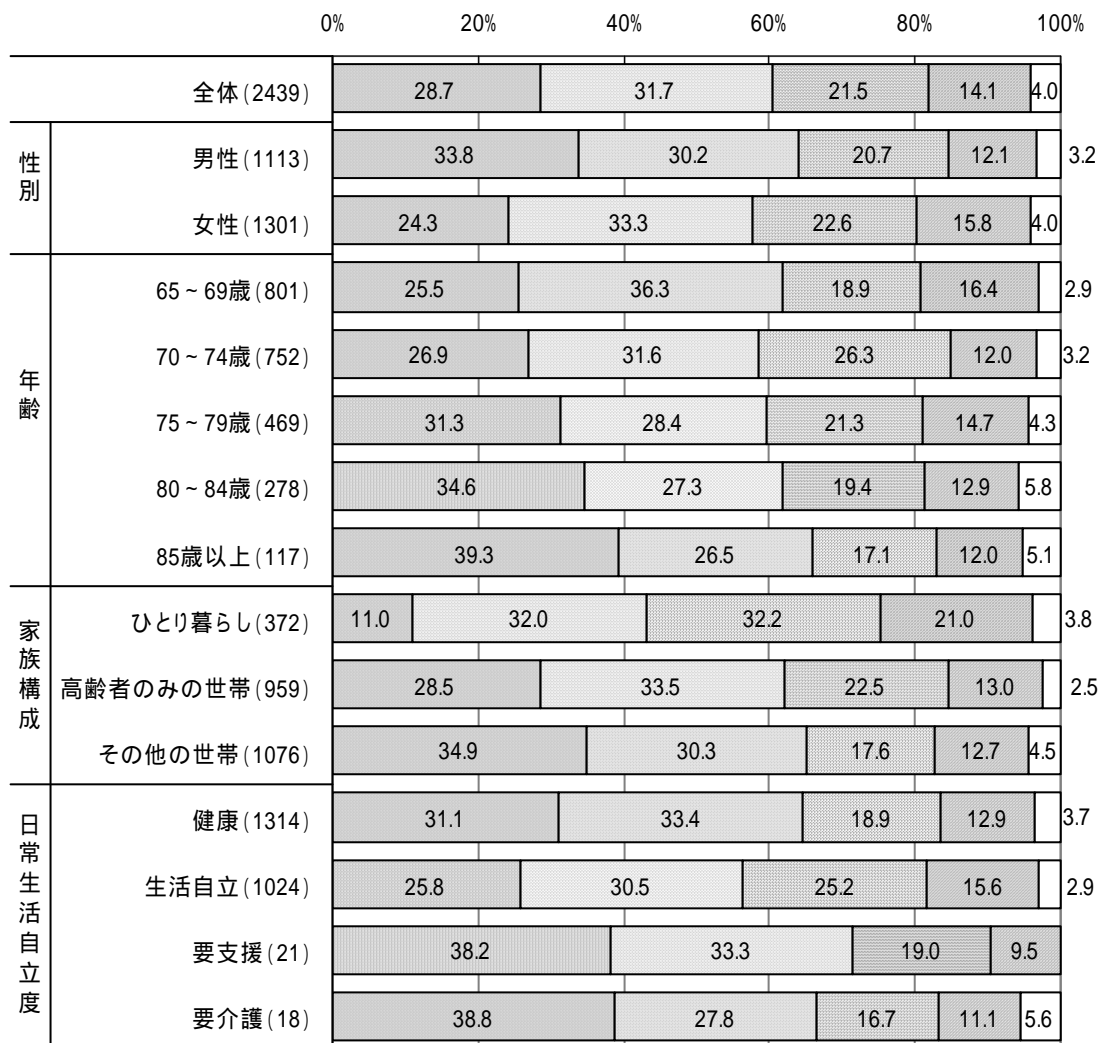
介護が必要になったときにどのようにしたいかについてみると、「自宅で、訪問介護や通所介護などを活用しながら生活したい」が最も高く 31.7%、次いで「自宅で、家族などを中心に介護してほしい」が 28.7%となっており、自宅での生活を希望する人が多い傾向がみられます。

性別では、男性のほうが「自宅で、家族などを中心に介護してほしい」が高くなっています。

年齢別では、年齢が高くなるほど「自宅で、家族などを中心に介護してほしい」が高くなる傾向があります。家族構成別では、ひとり暮らしでは「老人ホーム・病院などの施設に入所(入院)したい」が高くなっています。

日常生活自立度別では、要支援、要介護の人で「自宅で、家族などを中心に介護してほしい」が高くなっています。

図1 - 36 介護が必要になったときの対処



- 自宅で、家族などを中心に介護してほしい
- 自宅で、訪問介護や通所介護などを活用しながら生活したい
- 老人ホーム・病院などの施設に入所(入院)したい
- わからない
- 無回答

()内は有効回答数